

はぐ便り

2018年
11月号
【第60号】

家庭教育研修会「はぐ講座」を開催しました!!

10月30日(火)に、はぐ便り58号でお知らせしていました、家庭教育研修会「はぐ講座」を、都南公民館を会場に開催しましたので、その様子をご紹介します。

今回の研修会講師は、昨年度に引き続き岩手県立大学社会福祉学部^{まきひと}の佐藤 匡仁(まさひと)先生。

匡仁先生は、保育者論、教育原理、生涯発達アセスメント法、発達障害論といった、保育士や幼稚園教諭の養成に関する科目をご担当されており、学生に子どもの発達の特徴と支援方法を講義するとともに、研究室では、学生さんたちと発達に心遣いのあるお子さんの臨床活動をされています。

講話「匡仁先生から学ぶ 子どものふれ合いの大切さ」では、乳児期の子どもの発達や要求、愛着の特徴や形成、心が健康健全であることについて おはなしいたしました。講話の内容を一部をご紹介します。



岩手県立大学
社会福祉学部人間福祉学科
佐藤 匡仁 氏^{まきひと}

么児期になると、言葉
を発したり、注意をひきつけ
たりする行動を子どもから親の方に
向けてくる。それに対して、親は穏
やかな返事・共感をしたり、微笑み
返したり、あるいは、いつの間にか不快
なおむつが取り替えられている。痛い
ときには「あー、いたい、いたい」と
さすって、その気持ちを慰めてくれる。
このような適切な応答をして
いくことで愛着が形成
されていく。

人見知りであったり、ほかの
人だと泣いてしまうというのは、
正常に成長・発達している証拠。
他の人に抱っこされて泣いてしまう
ということは、お父さん・お母さんは悲し
い気持ち、どうしたのかな?という感情
に揺さぶられますが、「私と赤ちゃんの
関係ができています」という、正常で
喜ぶべきことなんです。

子どもは大きくなっていくと
一人で色々なことをやりたがります。
その時に大切なことは、お父さんや
お母さんは背後から見守って、子どもに
何かあったときはしっかり守ってあげる
こと。「安全基地」になること。
それが繰り返されていくと、固い絆
になり、独り立ちに向かっていく。

Attachment「愛着」と
いうのは、怖い、不安、そういった
気持ちを特定の人に「くっつく」こと
によって、自分の気持ちを調整しようと
する状態。それにより、安心の回復、
守ってくれるということの確かな見通しが
できる。だから自分で お母さんから
ちょっとずつ 離れて、探索や探検を
していく。そうすることによって、セルフ
コントロールの力を身につけていく。

子どもが寂しそうにして
いるときに、お母さんも一緒に
寂しそうな顔に自然となってしまう。
痛そうにしたときには、お父さんもお
母さんもその子の前で「いたい」と
一緒に痛い顔をしている。それが大切
です。親自身が鏡になって「今あな
たの体、心の中で起きていることは
こういうことよ」と自然に返すことで、
「今僕はこんな気持ちなんだと
いうことを学習していく。自然に
理解していくことになる。」

裏面へつづく



参加者のみなさんの声



研修会終了後には、アンケートを実施しましたので、いただいた感想の一部をご紹介します😊



「ほどほどの親」「丁寧な母子分離」「確認のチラ見」「愛情・気持ちの燃料補給」…。ハッとするキーワードを聞けました。日々の中で思い出して子どもと接しようと思います。乳児期は過ぎてしまいましたが、今日から更なる愛着形成を目指します。まずは笑顔で「おかえりー!」を言ってあげたいです。私含め、大人の安全基地も作りたいです。ありがとうございました。

子育てに関して不安があったが、自分がしていることが正しい事なんだと自信につながった。



どうしても完璧な親を目指しがちだけど、1番初めに「ほどほどの親がいい」とお話をいただいて、良い意味で肩の力が抜けました。3歳の女児にはやはり親に頼らず自分でやってほしい(靴を履いたり、服を着たり、ご飯を食べたり…)と願ってしまいがちだけど、まずは甘えるだけ甘えさせて、そのうち自信がついて自立していきたくらうと今日お話を聞いて思いました。2人の子には、肌とのふれあいを大切に向き合って育てていきたいです。

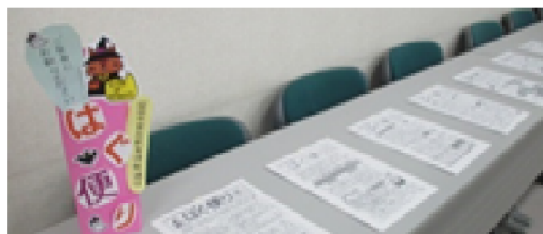
何気なく、日常の中で行っていることもあったし、改めようと思った点もあったけれど、「ほどほどの親」でいようと思ったら、とても気が楽になり、参加してよかったです。いつも自分の子育ては果たしてこれで良いのかな?と思うところがあったのですが、そばにいてふれあいを大事にする事だけでも子どもにとってとても意味のあることなのだと気付かされました。



参加してくださったみなさん、匡仁先生、ありがとうございました! 「はぐ講座」の開催告知は「はぐ便り」でも行っていますので、是非チェックしてみてください!



会場内には「はぐ便り」コーナーを設置しました! はぐ太もいたよ! ✨



盛岡市家庭教育情報通信『はぐ便り』 2018年11月号【通号60号】 平成30年11月21日発行
 発行者・問合せ 盛岡市教育委員会 生涯学習課 住所：盛岡市津志田14-37-2
 TEL:019-639-9046 FAX:019-639-1516 E-mail:edu.sgs@city.morioka.iwate.jp